



まちネット 寄居通信『さあ 手をつなご!』はみなさんの支援力がエネルギー源

# さらなる開かれた議会へ 要望書を提出しました

今年度の活動計画として挙げてきました議会改革への働きかけとして、2009年に続き町議会へ要望書を提出しました。常任委員会の傍聴は検討中との議会事務局の返答を6月議会時に電話にて聞いていますが、(通信No.35参照)その後の議会だより内では、全く触れられていません。現在、町議会ではどのように考えているのか、再度要望書を提出することにしました。

寄居町議会議長  
稲山良文 様

2013年11月29日

## 要 望 書

寄居町議会では「開かれた議会」を推進するため議会改革に取り組んでこられ、議会だよりの刷新、定例議会での一般質問内容のインターネット上での事前公開など、町民にわかりやすい議会運営への工夫改善は大変評価できることと受け止めております。しかしながら、審議過程の公開などについては、まだ、不十分な点も見受けられますので、更なる推進をお願いいたします。

2009年11月、当団体では町議会へ下記の内容を含む要望書を提出しました。「議会内の各委員会を委員長の許可がなくても、一般町民に傍聴、公開できるようにしてください。」その時の回答は、委員会の傍聴につきましては、寄居町委員会条例にもとづき、委員長の許可を受けた方に傍聴を認めておりますことから、当面は現在の対応を継続することとします。といった内容でした。

この間、私たちは数回常任委員会の傍聴を申し込みましたが、すべて認められませんでした。理由は前例がないという事でした。

その後4年が経過する中で、寄居町議会では2011年に町議会選挙が行われ、新しい体制下での議会改革に大きな期待が寄せられています。今日、近隣の自治体をはじめ多くの地方自治体では常任委員会の傍聴は当然のように行われてきており、寄居町議会での更なる開かれた議会、議会の可視化を切望し、下記の3項目を要望いたします。

- 1、町議会内における各委員会を委員長の許可がなくても、一般町民に傍聴、公開できるようにしてください。
- 2、定例議会および臨時議会を、インターネット上での中継および録画公開の実現に取り組んでください。
- 3、議会主催による議会報告会の開催に取り組んでください。

まちネットワークよりい 代表 大北秀子

# 議 会 傍 聴

2013. 9月議会

彩の国資源循環工場の松葉による大気汚染調査

2013年、重金属類調査結果



## 今回も水銀で群を抜く高い数値が！

9月8日、「松葉による大気調査実行委員会」(まちネット寄居は実行委員会に参加しています)によって資源循環工場の敷地内、12地点から松葉が採取され、この測定結果が得られました。

①結果は $0.15 \mu\text{g/g}$ (マイクログラム/グラム)と大変高い値でした。これは松葉調査を行っている全国20数か所の測定値の2~8倍という群を抜く高さで、2011年の $0.16 \mu\text{g/g}$ に迫るものでした。

②工場敷地内は敷地外の $0.06 \mu\text{g/g}$ に比べて2倍以上の値です。発生源は工場内だと推測されます。

今回も私たち住民が環境を注意して見守る中で、具体的な数値であるデータを取り続けることが本当に大切なんだと感じました。何より工場敷地に入って数分たつと舌がピリピリし、頭が重くなる。この軽い頭痛は1週間近く残る。という体感が調査を続けなきゃ！という気持ちにさせてくれます。今回の調査費用、約6万円は2012年度のカンパの残金によって行われました。来年2014年度には1年おきに行っている松葉によるダイオキシン類調査がカンパによって行われる予定です。

報告 矢島

9月議会だよりを読みましたか？2名の議員が町長の政治・行政姿勢について質問しました。どちらも、町長の後援会役員の大半が辞任したことを取り上げ、町長の行政遂行上の資質を問おうとするものでした。この件について、町長本人の弁明を求め、独断性や、ときに直情的な叱責等が職員を萎縮させているとの問題視に対する認識を質そうとするスタイルでした。具体的な政策ミスや行政遂行上の弊害を的確に指摘するものではなかったために、町長は、答える必要のない質問として静かに突っぱねておしましました。「特に答える必要はありません。」という町長の答弁直後、議長が暫時休憩を告げ、傍聴者は(当然のことながら)BGMもお茶も出ない傍聴席で20分以上も待たされる場面がありました。休憩明けには、その間に開かれたという議会運営委員会での決定として、町長に対し、「答えない理由を述べなければならぬ」と申し渡したただけのことで、結局、「一般質問は、政策・事務に関する質問をする場である」という理由が返ってきただけでした。町長職は、その人間性や職務の的確性が町民の生活に直結する立場と言えるでしょう。それを議会上で質すためには、政策暴走や行政遂行上の不具合として、具体的な悪影響を指摘・追及する姿勢を徹底しない限り、「特に答える必要はありません。」で終わってしまいます。傍聴者の落胆を招き、議会の稚拙さを露呈するだけではないでしょうか。町民1人ひとりが町の住人として尊重され、この町で心豊かに住まい続け、人生を全うできる

ような町づくりを願い、そのために、それぞれ行政運営と議会運営を託しているのです。とは言っても、お任せばかりでは、このような落胆が続きかねません。ぜひ、行政サービスや議会傍聴の感想を、まちネットにお寄せください！

(Y.S)

## 円滑な議会運営を！

9月議会、一般質問の傍聴へ足を運ぶ。開会後間もなく、暫時休憩の議長からの発案。質問議員と回答する町長の歯車が全く合わない。「特に答える必要はない」と繰り返す町長の弁に対する対応相談のようだ。この休憩時間は30分近い。仕事の合間を縫って何とか傍聴席に座った私にとって、これほど腹立たしいことはない。議会の休憩を見に来たわけではない。質問議員の一般質問の役割の認識のなさはもちろん、それに答える町長の対決姿勢は分からなくもないが、空回りすることは目に見えている。議会の円滑な進行を双方ともに少しは考えてほしいと感じた。しかし何より、議会のあまりもの稚拙さを露呈していることすら感じていないのだろうか。

(H.O)



# ダンボールコンポスト

ダンボールコンポストを継続するためのコツを学びました

## アフター講習会

10月11日、寄居町中央公民館にて  
参加者6名

5月の講習会に続き、今年度第2回目の講習会を開催しました。アフター講座として、今までに実践されてきた方に参加を呼びかけ、実践中のたい肥を持参していただきました。初心者の方の参加もあり、ダンボールコンポストの基礎の復習も兼ねて開催。

今年で6年目となるダンボールコンポスト講習会に参加された方は、100人以上となります。けれど、ずっと継続となるとなかなか難しいようです。そこで継続のためのアフター講座として計画しました。参加者は多くありませんでしたが、今後の普及活動への課題を与えられたように思います。真冬は分解速度が急激に落ちることや、できたたい肥の用途など、ゴミ減量の視点だけではつづけられないこともあります。何よりできたたい肥が有効活用されてはじめてコンポストの楽しさが感じられるのではと思います。そのためには、堆肥の基礎知識がある程度必要なことがあげられます。もちろん虫対策も見逃せません。

### 「堆肥に失敗はありません」

水分が多くなってしまっても、乾燥気味でなかなか分解が進まなくても、虫がたくさん湧いてしまっても、お手当の方法があります。分解がうまくいっている状態を知っていたら、できるだけそれに近づけていけばよいのです。どのくらいになったらコンポストを終わらせるの?の問いにも、色、水分量、においのコツがつかめると迷うこともありません。コンポストはいつでも終わらせることができます。でも、せっかくの基材にまだま



コンポストなまを作ろうよ



だ生ごみを投入できるようでしたら、もったいない。できるだけ分解してもらいたいですよね。そんなちょっとしたコツは、やはり、実践されている方たちのたい肥を皆で観察することで実感できるようになると思います。堆肥持参は、品評会のようにでなかな

か参加するのに気が重い人が多いようですが、先ほどの「たい肥に失敗はない」を思い出して、次回をもっとアフター講座の充実を図っていきたいと思います。

### 高品質の生ごみたい肥

家庭の生ごみは、鶏糞に匹敵するくらいバランスもよく、かなり品質の高い堆肥となることをもっともっと知らせていくことも必要と感じました。税金の削減にもなり、環境負荷を減らし、とまちネットで呼びかけてきた、「自分たちの足元からできることを」は、楽しくないと続けられないこと。そのためにはコンポスト仲間のネットワークがあるとよいのでは。次年度への大きな課題として検討していきます。 報告 大北

# みんなで作って食べよう

地元有機無農薬の地粉を使って

11月17日参加者14名  
(こども3名)

## もろやま華うどん



11月17日、私にとって2回目のもろやま華うどん作りに参加しました。練習することも、踏むこともなく、粉をパッパッパとまとめて数回押しして伸ばす、簡単なレシピ通りにやれば、5分間で生うどんの出来上がりです。食べたいと思ったらお湯を沸かしている間に作れる。もろやま華うどんにまたまた感激しました。ゆで時間も4から5分と短くて、とってもおいしくいただきました。不器用な私にも気軽にできるもろやま華うどんを皆さんもぜひ一度作ってみてはいかがでしょうか？手軽に打ち立てうどんがいただけますよ。 佐藤光

手作りうどんは、こねたり、踏んだり力のある作業だと思っていましたが、もろやま華うどんは、子ども達(小5、小3、5歳)でもできました。地元産の有機地粉を水だけで、本当に簡単でおいしくうどんを教えていただきました。ありがとうございました。 小川奈々

わ～！本当に手打ちうどんだ～！！これが、一口食べての感想。ただ混ぜて重ねて押し延ばすだけ！久しぶりに手打ちうどんの食感を味わいました。毎日の食生活を簡単に簡単に流している中で、ここの所無かった手作りする喜びの感触を取り戻しました。材料も用意してご指導下さった皆様に感謝です。本当に簡単にできるので、今日のお昼にと考えているところです。有難う。 美代

つくったうどんはおいしかったです。うどん作りはたのしかったです。 みお



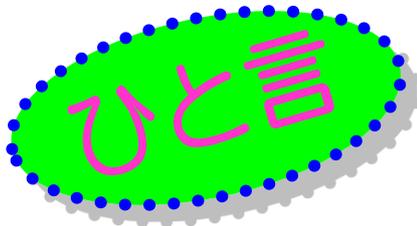
初めての手作りうどんだったのでとてもおいしかったです。レストランなどであるうどんよりおいしいと思います。こんなにかんたんうどんを家でも作れるのがとてもすごいところです。またこのおいしい手作りうどんを作りたいです。(華音)

ネット会員さんの地粉で作ったうどんは、それはそれは美味しかったです。で、TPPが入ってくると、この美味しい地粉が手に入らなくなるらしい……？！！！！

あっという間に水と粉をしっとり融合させるこの“ワザ”をマスターすると、パリパリのピザやパイも超簡単に作れます。地粉万歳！知らなきゃ損！来年もやりませんか？！ (Y.S)



華うどんを教えて頂いて一年近くになるでしょうか。なんとなくこんなものかなと作ってきましたけれど、今回もう一度動画を見たりテキストの見直しをしてみるとわかることが多々あり、おかげさまで私のうどんも進歩したみたいです。小さなお子さんの作りたいパワーが私の方にも飛んで来たみたいでした。でもガーッとかき回すの疲れそうです。ありがとうございます♥ 岡本



# 言わせて

## 容器包装リサイクル法の改正

### これも秘密 あれも秘密

TPP(環太平洋連携経済協定)は、「秘密」交渉です。交渉参加前は、参加しなければ内容は知らせられない、といい、7月に正式に日本が交渉に参加したら、秘密協定に調印したから内容は知らせられない、といい、内容が秘密のまま協定が年内妥結したら、内容が知らされないまま来年1月の国会で批准されて、その後4年間は秘密にされるというのです。国会議員でさえ、この秘密交渉の中身を知ることができません。

「聖域」を守るとか守らないとか、農産物の関税問題ばかりが報道されるTPPですが、秘密のうちに、私たちの暮らし、仕事、環境、食べ物に関する大切なことが、決められてしまう、そして後戻りできない、というのがTPP。すでに、TPPを先取りし、牛肉の輸入制限緩和とかアフラックのがん保険を郵便局で扱うこととか、農薬(欧州で使用停止になっているネオニコチノイド系)の残留基準の緩和や遺伝子組み換え作物の承認作業の簡素化、軽自動車優遇措置の廃止、国家戦略特区での外資規制や労働規制の緩和などなど、が表面化しています。

いままで、国民が獲得してきた、平和に当たり前で生きるための様々な権利や法制が、TPPというブラックボックスの中で変えられていきます。12月8日には、このブラックボックスの中身を公開してほしいという、「これでいいの?! TPP 12.8 大行動」というのが東京であります。署名活動もあります。詳しくお知りになりたい方がいれば、伊藤

(080-5862-3645nonotobira@ybb.ne.jp)までご連絡ください。

### できることをやっぺいこう

しかしながら、ブラックボックスの中身が、「国の安全保障に支障がある」と「秘密」に指定されたら、触れようとしただけで犯罪だ、とするのが、現在臨時国会で審議されている特定秘密保護法です。秘密を指定する「行政機関の長」は、外務大臣や防衛大臣のほか、消費者庁とか林野庁、気象庁の長官や地域再生本部長、中心市街地活性化本部長など、53もあり、まさに生活全般が対象となります。

何が秘密かわからない、知らずに従い、判断を停止する先にあるのは、当たり前前に生きることを奪われた、荒涼たる眺めではないでしょうか。

衆議院では、法案が11月26日に通過してしまいましたが、参議院での審議に対して、有権者として声を届けるつもりです。地元選出議員のリストや審議される特別委員会の委員のリストについての情報を知りたい方がいれば、ご連絡ください。できることをやろうと思ってます。

伊藤泰子



「発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書を、国会及び関係行政庁に提出して下さい」

容り法改正の請願署名に生活クラブ生協寄居支部に協力し取り組みました。(約580筆の署名数でした) 前回、2010年に署名協力した「容器包装リサイクル法を見直し、発生抑制と再使用を促進するための仕組みの検討を求める請願」(39万4165筆)は、2011年8月31日、衆・参各環境委員会で全会一致により採択されました。しかしその後、国での改正への動きは全くなく、今日まで経過してきました。ようと進まぬ状況下で、再再度の請願署名運動となりました。今回の請願事項は、「①容器包装の拡大生産者責任を強化し、リサイクルの社会的コストを低減するため分別収集・選別保管の費用について製品価格への内部化を進めること ②レジ袋使用量を大幅に削減するため、有料化などの法制化について検討を進めること ③2Rの環境境域を強化し、リユースを普及するため、学校牛乳のびん化が促進されるように様々な環境を整備すること」とより具体的な対策を上げています。容り法の問題点、大きすぎる自治体負担、ごみの発生抑制になっていない、リユースが消滅してしまうなど、施行当初からの課題は全く改善に向かっていません。持続可能な社会への転換が叫ばれながら、経済優先、企業利益優先の構図はますます横行してきました。生活者からの声をもっともっと挙げていく必要があります。

H.O



## まちネット寄居のホームページのURLが新しくなりました

<http://www.geocities.jp/y115nety/index.htm> にアクセスしてください

### 新しいホームページを上位に押し上げてください

しばらくの間、新URLをお気に入り登録して、頻繁にアクセスをしてください。ご協力をお願いします。「まちネット寄居」で検索すると旧URLが生きていて、古いものが出てきてしまいます。次年度はホームページもリニューアルする予定です。楽しいアイデア、ご意見などお寄せください。

information

お知らせ

## 木曜野菜市

ネット会員募集中  
いつでもどうぞ!

毎日の暮らしの中で、感じている不安、困っていることから出発。自分たちの足元から見つめ、話していきましょう。ぜひ、お仲間になってください。

問合せ・・・大北 (582 - 4073)

## まちネット総会

2014年1月25日(土)

- 寄居町中央公民館(予定)
- 午後7時～

1年間の総括と次年度に向けて、議案書に沿った総会ですが、あまりかたぐるしくなくお気軽にご参加ください。詳細は後日お知らせいたします。



今年の5月に、皆農塾の鈴木恵子さんのご厚意で始まった木曜野菜市、まだまだがんばっていま～す。7、8月の夏野菜のキュウリ、ナスは絶品でした。9月、端境期にもめげずに新鮮な野菜たちが並びました。また、夏からは同じ有機農業グループの、増谷さんからの応援もあり、充実した品揃いへと。この秋は少し高値の野菜市場の中、安心、新鮮、おいしいの3拍子揃った有機無農薬の野菜たちはとても贅沢かもしれません。また、普段あまり食べられない野菜も登場。真夏にレタス代わりに生食できるベカ菜は、淡泊でお肉やソーセージをまいて食べると最高。ともかく、小松菜も、大根の葉も、アスパラ菜もやわらかくて風味満点。大好評です。カンパ金は、7月までの合計金額、22,390円、9月17,150円、11月21,960円で総計61,500円(まちネットとTPP寄居町連絡会と等分し、まちネットへのカンパ金は、30,750円となりました)皆さま本当にほんとうにありがとうございました。翌日まで残った野菜は、吉田充子さんが、ディサービス「よりあいの家くるみ」まで毎回運んでくれます。皆様の温かいご協力に感謝。カンパ金は大切にさせていただきます。



## 編集後記

青空に焰吸はるゝ焚火かな  
(日野草城)

北風とともに落ち葉の季節となった。庭いっぱい敷き詰められた落ち葉は踏みつけると軽やかな音を立てている。この落ち葉で先日3歳の孫と一緒に落ち葉焚きをし、焼き芋を楽しむ。都会暮らしの孫は焚火など縁のない生活。大喜びで芋にかぶりつく。至福の一時だ。10月末に長男に第2子の女兒が誕生。懐かしい新生児としばし暮らす。今、TPP、特定秘密保護法と肅々と進められている。いたるところから反対の声が上がっている。ものともしない勢いだ。これらが成立、施行されたらこの孫たちが大人になったとき、いや5年、10年後の日本はどんな国になっているのか。現在憲法で保障されている、基本的人権など吹っ飛ばす。すべて国家のためにの大義が王道となってしまうかもしれない。強い危機感を覚える。私たち大人の責任は重大だ。諦めずに、阻止への運動を継続したい。まだ私たちには打つ手は残されている。 H,O

